

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	市民総合賠償補償保険事務事業					②事業番号	2104
③事業類型	2. 法上(任意)事業			④開始年度	年度	⑤終了予定年度	年度
⑥根拠法令等	☐ 法令	☐ 条例	☐ 規則	☐ 要綱	☐ 計画等	⑦その他	法令等の名称
⑦実施手法	☐ 直営	☐ 全部委託	☐ 一部委託	☐ 補助・負担	☐ その他		
⑧関連予算科目コード	款	2	項	1	目	1	細目
⑨担当部名	総務部			⑩担当課名	総務課		会計
							一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 市民	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
「全国市長会市民総合賠償補償保険」と称する。 賠償責任保険に加入し、市が所有・使用・管理する施設の瑕疵や市の行う業務遂行上の過失に起因する事故について、市に法律上の賠償責任が生じることによって被る損害に対して保険金の請求をする。	① 保険料	千円
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
事故発生件数の減少に期待するが、万が一の場合の事故発生に伴う一時的な多額の財政負担を補うための保険事業である。	① 保険件数	件
	② 請求した保険金額	千円
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
積極的な行政を推進する職場環境の向上につながる行政効果やまた、事故対応から得る経験などを活かし、市民の安全・安心を確保する徹底した事故予防対策や行政運営のリスクマネジメントに結びつく。	政策(章)	6 みんなでまちづくりに取り組むまち
	施策大(節)	2 市民の満足度が高く、また透明性の高い行政経営をおこなうまちをめざします
	施策中	1 行政経営の高度化
	施策小	4 高い市民満足度が得られるサービスの推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

指標名	単位	H30実績	H31実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標① 市民	人	62,625	62,117	61,539	60,954	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②							
活動指標① 保険料	千円	914	907	908	900	—	
活動指標②							人数は保険加入者数を見込んだ際(2月末現在人口)のもの。 H30年度については高額保険請求があったため。
活動指標③							
成果指標① 保険件数	件	5	1	1	—	—	
成果指標② 請求した保険金額	千円	427	5	0	—	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③							
事業費							
投入人員							事業費などの推移における特殊要因などの説明
正職員	人	0.05	0.04	0.01	0.01	—	
任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	—	
臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
事業費							
人件費(投入人員*単価)	千円	405	308	76	76	—	
直接事業費	千円	918	907	908	917	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
総事業費	千円	1,323	1,215	984	993	—	
財源内訳							
国庫支出金	千円	0	0	0	0	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
府支出金	千円	0	0	0	0	—	
受益者負担金	千円	0	0	0	0	—	
その他特定財源	千円	0	0	0	0	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
一般財源	千円	1,323	1,215	984	993	—	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	近年、多種多様な事故や、また多額の賠償責任が生じる事故なども発生しかねないため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	多種多様な事故の補償・賠償に対応できるよう、平成25年度に各課の保険事業を一括して総務課でとりまとめた。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ ア ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (年まで) (年から) (年から)	
＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—